

## 実践研究福井ラウンドテーブル 2026 Spring Sessions

2月 21日（土）14:30-17:40 Session II Zone B 教師教育フォーラム  
(対面・オンラインハイブリッド)

### 「激論！ド～する？ “養成観の転換”」

現在、中央教育審議会・教員養成部会では、子どもたちが主体的・対話的で深い学びを通じて、これからの中のVUCAワールド、ウェルビーイング社会の中で、自らの人生を舵取りする力を育み、民主的で持続可能な社会の創り手となっていくのを支えていくための教員養成の変革に向けて議論を進めており、そこで“養成観の転換”が主要テーマに据えられています。同部会の論点整理では現状のところ“養成観の転換”として、(1)実践機会の充実、(2)多様な学習方法を通じた「学びのトータルデザイン」、(3)デジタル活用による学習環境の拡張、の主に3点が挙げられています。しかし、これらの提起の根幹にある「観」の転換については不明なままであります。そこで本フォーラムでは、“養成観の転換”にかかわる多様なステークホルダーをゲストとしてお招きし、参会者のみなさまと共に「激論！ド～する？ “養成観の転換”」として“養成観の転換”の実態、その転換を阻む壁、その壁をブレイクスルーしていくための基本的な考え方を協働探究していきます。

司会 福井大学連合教職開発研究科 木村優

ゲスト 文科省教員養成室 若林徹 室長

教職員支援機構 百合田真樹人 教授

大阪教育大学・峯明秀 教授

横浜市教育委員会 丹羽正昇 学校教育部長

福井県教育庁 増山温子 教職魅力発信ディレクター

他（現在“養成観の転換”にかかわる方にも依頼中です）

テーマ ①求められる“養成観の転換” 何から何に“転換”するのか？

②“養成観の転換”を阻む「壁」は何か？それをどう乗り越えるのか？

③「OECD テイチングコンパス」リリース！ “養成観の転換”に何をもたらすか？

④“養成観の転換”をどう実現するか？

### 進め方

- テーマに即してゲストに見解を示していただき、ディスカッションを行います。
- 参会者のみなさまもテーマに即したグループ対話を行います。
- グループ対話をふまえて、ゲストと一緒にディスカッションを深めていきます。